

平成30年6月21日
帯広開発建設部

国内最大級の十勝川千代田実験水路において実験を実施します ～ 越水による堤防決壊などの実験 ～

北海道開発局及び寒地土木研究所では、大規模水害時における被害軽減技術の開発に向け、十勝川千代田実験水路において、越水による堤防決壊に関する特性の把握や、先進技術を活用した水文観測技術の実証を行います。

近年、集中豪雨や局所的な降雨等により、各地において災害が発生しています。このため、北海道開発局では、ハードとソフトが一体となった取組を進めているところですが、一たび河川堤防が決壊（堤防が崩れる現象）すると、大量の河川の水が市街地や農地に流出し、浸水による甚大な被害が発生します。

そのため、北海道開発局及び寒地土木研究所では、越水による堤防決壊に関する特性の把握や、洪水時の観測技術の向上を図るために、先進技術を活用した水文観測技術の実証実験を下記のとおり実施します。

記

- 日時 平成30年6月27日(水) 9:00～16:00
(天候により延期又は中止することがあります。)
- 場所 十勝川 千代田新水路（中川郡幕別町相川地先）
- 実験の概要 詳細は別紙1を参照
- 取材について 取材を希望される場合には、直接、千代田新水路管理棟（別紙2を参照）へお越しください。取材される方は、安全確保のため、ヘルメット・長靴を御用意ください。
[参考] 帯広開発建設部ホームページ（千代田新水路）

<http://www.hkd.mlit.go.jp/ob/tisui/kds/chiyodashinsuiro/ct111r0000002hgy.html>

【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 電話 011-709-2311
河川計画課 課長補佐 武田 淳史（内線 5294）
北海道開発局 帯広開発建設部 治水課 電話 0155-24-4105
課長 米元 光明（内線 291）
流域計画官 村椿 俊幸（内線 294）
国立研究開発法人 寒地土木研究所 電話 011-841-1639
寒地河川チーム 主任研究員 横山 洋（内線272）

北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/>



平成30年度 十勝川千代田実験水路実験の概要

実験日時・実験場所

【実験日時】

平成30年6月27日(水) 9時00分～16時00分

注1 実験の開始時刻や終了時刻は、進行状況によって前後することがあります。

注2 十勝川の維持流量が確保できない場合や大雨により洪水が発生することが予想される場合には、実験を中止することがあります。

【実験場所】

十勝川千代田実験水路(住所:北海道中川郡幕別町相川地先)



千代田実験水路管理棟
(大きなアンテナが目印です)

●問合せ先● 北海道開発局帯広開発建設部 治水課 流域計画官 村椿 まで

Tel 0155-24-4105, Fax 0155-27-2377, E-mail: muratsubaki-t22aa@mlit.go.jp

平成30年度千代田実験水路実験の内容

《越水による堤防決壊実験》

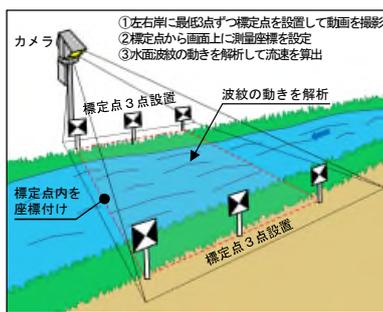
- 越水で堤防を決壊させる実験を行い、越水による堤防決壊の機構を観測します。
- 越水による堤防決壊に関する特性を把握し、その対応に役立てます。



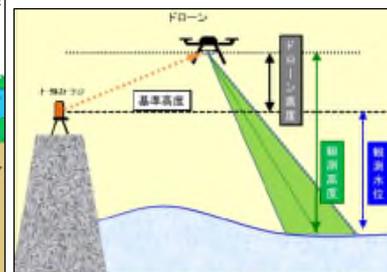
平成22年 越水による堤防決壊実験の状況

《洪水時の観測技術についての実験》

- 洪水時に観測する河川水位や流速は、河川管理に必要な重要な基礎資料となります。
- 洪水時の観測技術の向上を図るため、画像解析やドローンに搭載した小型レーダーを用いた観測技術の実証実験を行います。
- 本実験では正確な水位、流速を把握しており、比較して観測精度を検証することが可能です。



画像解析による流速(流量)観測



小型レーダーによる水位、流速観測
(国研)土木研究所

千代田新水路における実物大水路実験

- 千代田実験水路※は、千代田新水路の一部を実験水路として利用したもので、実河川スケールでの様々な実験・研究を行っています。

※ 延長1,300m、水路幅30m(国内最大級)

- 北海道開発局と寒地土木研究所は、千代田実験水路を活用し、河川堤防の決壊による被害の軽減に向けた研究に取り組んでいます。



帯広市内から千代田新水路までのルート図



管理棟(受付)周辺図

